

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 30 年 10 月 6 日 (土) 午後 6 時～7 時 30 分
場 所 滝集会所 (滝自治会)
参加者数 68 人



主な意見等

参加者 子どもが福岡小学校に通っています。担任の先生が大変良い方だったので、次の学年に進級しても是非その先生に担任をしていただきたいと思っていましたが、その先生は翌年度に違う学校に行ってしまいました。理由を確認してみたところ、その先生は非正規で非正規の先生は1年ごとに学校が変わってしまうとのことでした。とても良い先生だったので非常に残念でした。非正規が悪いということではではないのですが、継続性を持たせる意味でも担任を受け持つ先生は、正規の先生だけにさせていただくことはできないのでしょうか。

予算の都合等もあろうかと思いますがよろしくお願いします。

市長 予算の問題ではなく、おそらく、人員配置の何らかの理由によって非正規の先生が担任をされたのだと思われます。

参加者 滝集会所の目の前の通り沿いに住んでおり、以前の台風で道路が冠水しました。それ以降、台風が接近し自宅に駐車してある車が冠

水する可能性がある場合には、市の職員が巡回してくださり、市役所の駐車場を避難場所として開放するとの連絡をしていただいています。しかし、車の所有者である私自身は日中都内に勤めており不在にしていますので、いつも母親が市の職員からの連絡を受けています。私が帰宅してからその旨の報告を受け、改めて市へ確認の連絡をしている状況です。例えば、メールアドレスを登録し、登録者にメールで連絡を流すなど出来ないのでしょうか。

市長 昨年の台風21号による本市の被害状況を受け、それ以降、市民の方の車を避難出来るよう市役所の駐車場を開放しています。市からの連絡を待つというよりも、今後も、台風が接近する状況があれば市役所の駐車場は市民の方の車の避難場所として開放されているとの認識でいていただいても結構です。ご自身の財産ですのでご自身の判断により車を避難させていただければと思います。

今、ご指摘いただいた連絡の仕方については、人の避難ではなく車の避難ですので、アナウンスが大きくなり過ぎないように注意が必要な地域に広報車による周知を行わせていただいた次第です。今後、台風が接近する可能性がある場合には早めにご自身の判断で車を避難していただければと思います。市の職員がいない時間帯でも守衛室に守衛がおりますし、駐車場が満車になってしまう場合には市役所本庁舎の駐車場のみならず、市民交流プラザの駐車場などを開放することも考えております。

参加者 以前、車を避難させようと市へ連絡したところ、駐車場を開放しているが残り10台ぐらいしか駐車できないため、早めに来て欲しいと言われました。

市長 おそらく、その連絡をいただいたのは8月の台風接近の際ではないでしょうか。避難用に駐車場を開放している際にたまたま駐車場に隣接する上野台体育館で事業をやっており、その参加者の多くの方が駐車してしまったために、駐車場の空きが少なくなってしまったようです。そのような状況を受け、至急、車を移動してもらおうようお願いしましたが、おそらく空きが少ないタイミングにお問い合わせをいただいたのだと思います。その際は大変ご迷惑をおかけいたしました。今後はそのようなことがないようにいたします。

参加者 市長の政策として子育てに力を入れていることは感謝していますが、お年寄も輝く地域にして欲しいと思います。子供たちが健やかに成長するためには地域のお年寄りが地域で輝くこと。そしてそのためには地域のコミュニティをしっかりと作っていくことが大切だと思います。

また、災害が発生した際には社会の状況が大きく変わります。災害があった際に必ず市の方、警察の方が来てくれる訳ではありません。まずは、地域の協力が一番重要になると思います。そこで、是非とも地域のコミュニティ作りを促進し、お年寄りが輝けるような政策を実施していただきたいです。

市長 私は市長に就任して以来、子ども優先の施策を展開してきました。それにより、本市は現役世代である子育て世代が多く転入し、税収も微増となっています。この増となった部分の財源をこれまで市を支えてくださったお年寄りが生きがいを持って生活出来るような施策展開に充てていく、このような流れが本市としての好循環であると考えています。

ご指摘のあった地域コミュニティにつきましては、地域の繋がりが希薄化してしまっている現状があります。地域コミュニティを促進するためには、地域で活動している大人の姿を子どもたちに見せていくことが有効な手段であると考えておりますので、今後も地域活動に対する支援などに力を入れていきたいと思っています。

参加者 先ほど他の方から質問のあった台風による車の避難についてですが、

地域を統計的に見ると日中は勤めに出ている方がほとんどです。連絡をする相手がどのような生活状況なのかを的確に把握することが必要であると思います。市の防災メールに登録していますが高齢者の行方不明に関する連絡が多く、また、埼玉県防災メールにも登録していますが、同じような内容のメールが何度も送付されます。このことから市として連絡を流す相手やタイミング、量を見直して欲しいと思います。

市長

ご指摘ありがとうございます。検討させていただきたいと思えます。また、市では防災行政無線の使い方についても慎重に行おうと検討しています。現在は行方不明者の連絡に使用することがほとん

どで、日頃から行方不明者の関係で頻繁に防災行政無線を使用してしまうと、聞き慣れてしまい、本来使用しなければならない危機的な状況の際に効果が薄れてしまうことも懸念しています。

参加者

私は権現山古墳群史跡の森でボランティアをしていますが、その中で気になっているのは常緑樹についてです。今年は市に常緑樹を少し伐採していただいたことにより、これまでよりも日が差すようになりました。学習会等で学んだことですが、常緑樹は何もせずそのままにしておくと、その辺りが常緑樹だらけになってしまうそうです。伸び過ぎた木は伐採することで新陳代謝が図れるそうです。このことから、市に対して更に一本でも二本でもいいので伐採してほしいと要望していますが、中々実施していただけていない状況です。権現山古墳群史跡の森は親子連れも多く利用しているので、日が差して明るくなるように伐採していただけないでしょうか。

市長

私には専門的な知識がないのですが、専門家の話を聞くと様々な意見があることは事実です。今、ご指摘いただいたことで新陳代謝させることの必要性は理解出来ましたので、担当課と検討させていただきたいと思います。

参加者

学校のトイレ改修を実施していただいたことに関して、私の子どもも大変喜んでいますが、ありがとうございます。また、合併特例債を最大限に活用すると説明されていましたが、国が7割負担、市が3割負担ということで有利ではあるもののあくまでも借金ですので、今後の返済を踏まえてどういった取り組みを進めているのか教えていただけますでしょうか。今の子どもが大人になる将来につけをまわさないためにどのようにお考えなのでしょうか。

市長

合併する以前の分も含まれますが、現在、市の債務残高は約400億円です。平成29年度の決算では実質赤字比率、連結赤字比率のそれぞれにおいて赤字ではないので「－」表示となっております。また、将来負担比率が基準値以下であるためこれも「－」表示です。本市の将来負担比率は約－28%と県内でトップレベルであると自負しております。

これまでの取り組みの大きなところでは職員数の削減です。合併

当初の職員数は約830人でしたが、組織改編を進めるとともに採用人数を抑制することで現在は約630人にまで減りました。当時の人件費と比べると年間で約15億円削減されております。

また、貯金である基金残高については現在約130億円となっており、これまで、今の子どもたちが大人になる将来につけをまわさないために進めてきた取り組みによって、財政状況は比較的良好であると考えています。

参加者

自治組織の加入率について、各自治組織によって加入率が違いますので加入率が良い自治組織と加入率が悪い自治組織で、市からの支援に差を付けた方が加入率の悪い自治組織は工夫をするなど、加入率の向上に繋がるのではないのでしょうか。また、私の住んでいる地域には新築が多く若い世代が多く移り住んで来ましたが、自治組織に加入しているのは1世帯だけです。なので、加入していない方々に対して市が加入するよう後押ししていただくことはできないのでしょうか。

市長

行政としては難しい問題です。どこの自治組織でも同じ状況があると思います。子育て中で忙しく自治組織の活動に参加出来ないことや、役が順番に回ってくるのが嫌で自治組織に加入されていない方もいらっしゃるかと思います。また、最近伺った話では、ある地域のご高齢の方が自分に役が回ってきた際に高齢のために何も出来ず迷惑を掛けてしまうから自治組織を辞めようと思っているとおっしゃっていました。

一方で、東日本大震災発生後に防災をテーマに実施したタウンミーティングでは、震災により住人の方々が危機感を覚えたため自治組織を立ち上げたいとの相談もありました。

災害に対しては平常時から備えておくことが大変重要ですので、今後も自治組織への加入率の促進に向けて取り組みを進めてまいります。

参加者

自治組織に加入していない方にペナルティを課すのではなく、加入している方に特典を付けていただけると良いと思います。

市長

お気持ちは十分に理解しておりますので、加入率の向上に向けて取り組みを進めてまいります。

